

校長の話

校長 上村 哲也

春らしい暖かい日が多くなりました。登校してくる皆さんの表情も明るく、残り少ない3学期を楽しく過ごそうという気持ちを感じます。

さて、まず、ある方から学校に寄贈していただいた物についてお知らせします。大きな習字です。中央には青墨で「夢」という文字が、下部には濃墨で「夢をもつことがでたら 夢を実現することができる」という文字が書かれています。この言葉は、一小の大先輩である向井千秋さんの言葉です。贈ってくださったのは書家の江森光龍（本名：江森秀夫）さんという方です。私が若い頃一小で一緒に働いていた方で、当時は教頭先生をされていました。

「一小の皆さんに向井千秋さんのことをよく知ってもらいたい。大きな夢をもって努力してほしい。」という思いをこの書に込めて贈っていただきました。後で職員玄関に飾りますので、ぜひ見に来てください。



では、ここから本題に入ります。今日のテーマは「自分を知ろう」です。人には誰でも、長所（得意なことや良いところ）と短所（苦手なことや良くないところ）があります。みなさんは「あなたの長所や短所は何ですか？」と聞かれたら、すぐに答えられますか。実は、「よく分からないな??？」という人も多いのではないのでしょうか。

自分のことをよく知る上で、長所と短所を知ることとはとても大切なことだそうです。長所を知ること、自分の得意なことや良い面を活かす機会を増やしたり自信をもったりすることができます。一方、短所を知ることには少し苦しい感じもしますが、自分の苦手なことや良くない面を認めることで、それに対する取り組み方を見つけることができます。

では、今からワークシートを使って、「自分を知る」作業に入しましょう。

1 まずは、「得意なこと・よいところ」を書きましょう。

例示) 運動すること ダンスが得意 字がきれい 優しい 明るい
給食を完食する ゲームが上手 家の手伝い きちんとあいさつ
※見つからない人は、友だちや先生に聞いてみましょう。

2 次に、「苦手なこと・良くないところ」を書きましょう。ちょっと恥ずかしいけど、大切なことです。

例示) 運動すること なわとび 算数の計算 飽きっぽい すぐ怒る
食べ物の好き嫌い ゲームのしすぎ ケガが多い 友だちが少ない

※見つからない人は勇気を出して友だちや先生に聞いてみましょう。新しい自分に気づくことができるかもしれませんよ。

- 3 最後に、「苦手なことや良くないところ」を変えるための目標を書きましょう。いきなり変えることは難しいですから、ちょっとずつ変えていくようにするのがお勧めです。

例示) 少しずつ練習する 時間を決めてゲームをする 毎日10分勉強する
優しい言葉をつかう すぐに謝るようにする

さて、作業はここまでにしましょう。

得意なことがあるとうれしいし、苦手なことも少しずつ変えていける。そう思うと、少しばかり自信が湧いてきませんか。苦手なことに挑戦している人を見たら、応援したくなりますよね。苦手なことが得意なことに変わることも多いのです。

今日は、「自分を知ろう」というテーマで話を進めてきました。長所や短所を知ると、自分で自分をコントロールしやすくなるのだそうです。「自分で自分をコントロールする」とは、少し分かりにくいことですが、「自分の近くにいるもう一人の自分が、本当の自分にアドバイスをしてくれる」というような感じです。

そういえば、私自身、子どもの頃は短気ですぐ怒ってしまうところがありました。でも、自分の短所を友だちから教えてもらい、「怒らないようにしましょう」と努めました。すると、やがて「もう一人の自分が「すぐに怒るなよ。落ち着いて」と囁いてくれるようになり、今では、時々、穏やかな人だねと言われるようになりました。実は、怒りっぽいところが無くなったわけではありませんが、いつの間にか、前よりも上手に自分をコントロールできるようになっていたのだと思います。

きっと、みなさんの担任の先生も何かコントロールしていると思います。この後、聞いてみてください。

人はみんなそれぞれ違いがあります。自分の得意なことを見つけて自信をもちましょう。また、苦手なことをみつけて、ちょっとずつ変えていきましょう。

自分の長所や短所をもっとよく知って、友だちと上手に付き合い、これまで以上に楽しい学校生活を送って欲しいと願っています。

これで、朝会を終わります。

